

無痛分娩 看護手順

入院当日

15:00 入院：受付スタッフが2階まで荷物を持って案内してくれる。

(木曜日は受付スタッフ不在となるため、インターホン対応。玄関まで迎えに行く。患者のみご案内、家族は帰宅へ)

*入院から分娩看護手順参照。

- ① カルテ準備の確認。外来カルテに指示書が入っているかを必ず確認。
- ② お部屋にご案内し、産着・ピンクの産褥ショーツに着替えてもらう。
- ③ 母子手帳、診察券、同意書をお預かりする。
- ④ 同意書は署名のページのみコピーし本人にコピーをお渡しする。入院診療計画書があれば、お預かりし、コピー。原本をお返す。
- ⑤ アナムネ聴取、病棟オリエンテーション実施。誘発当日の付き添いは10時以降と説明する。
- ⑥ NST
- ⑦ ルートキープ 生食ロック (シュアプラグ 20Gサーフロー、固定テープ、)
- ⑧ 所見が悪ければミニメトロ挿入するため、エコーの準備をしておく
- ⑨ 準備ができたら院長にコール 院長が外来診療中のときは調整する。
- ⑩ 院長が Epi 挿入、テストドーズするので介助と記録。
- ⑪ テストドーズ後、院長が内診するので介助する。
- ⑫ NST、血圧モニタリング。
- ⑬ 夕飯は自室で摂取する。
- ⑭ シャワー浴禁止。
- ⑮ 眠前、NST 装着
- ⑯ 眠剤希望時ルネスタ 2mg 処方

<Epi 介助手順>

【物品】硬膜外セット、1%キシロカイン 10ml、生食 20ml、イソジン液、滅菌手袋 7.5

【手順】 ①分娩台にて、右半分のみ脱衣していく。

②血圧測定間隔は2～5分

③キシロカインをシリンジに吸引する介助をする。

④患者の体位を取る。

⑤Epi 挿入部位、時間、テストドーズの時間と薬剤注入量を記録する。

(パルトグラム、eLAR)

⑥挿入後テープでEpi カテを固定し、フィルター部分は胸ポケットに入れる。

⑦適宜心音確認、モニター装着、VS 確認

<診察介助手順>

医師診察、所見が悪ければエコー後ミニメトロ挿入。

【物品】ミニメトロ、注射用液 40ml、50cc シリンジ、クスコ（消毒はエピセットのイソジンを使用する）

【手順】①硬膜外セットに必要な物品を入れる ＊注射用液は直接医師が吸うので介助する。

②ミニメトロ挿入。

③挿入後NST装着、血圧は10分間隔で測定し問題なければ帰室

④医師に所見を確認し誘発の指示に変更ないか確認。

⑤ミニメトロ挿入した場合は分娩までトミロン（夕・朝・昼）を内服する。

セフェム系アレルギーはジスロマックの場合はジスロマック 1日1回2錠（500mg）×3日間食後に内服。

誘発当日

①点滴開始前に陣痛室に移動し、モニター装着

指示時間より点滴開始できるように準備する。

②朝食は陣痛室で摂取（半分程度）

③夫付き添いは10時以降（夫に外出不可、病室には入れないこと、トイレの場所説明）

④無痛開始後は禁食、飲水は可

【物品】輸液ポンプ、三方活栓付き輸液セット、
指示薬剤、2.5ml シリンジ、5%Glu500ml

【アトニン使用方法】

・5%Glu 500ml +アトニン O5 単位

12ml/h 開始 初回のみ8ml/h up 30分毎に10ml/h up MAX 120ml/h

【プロスタグランジン F2a 使用方法】

・5%Glu 500ml +プロスタグランジン F2a 3000γ

→30ml/h 開始 30分毎に20ml/h up MAX 200ml/h

※喘息既往の人 禁

【無痛分娩】

・生食 46ml +0.2%アナペイン 50ml+フェンタニル 4ml= 100ml

・CADDを使用する場合は、プライミングまでセッティングする。

・自動血圧計・SATの準備（NSTモニターについている）

・入駒式プロトコルに沿う。

以降は入院から分娩看護手順参照。